

起業家支援財団 事務局通信 NO.12



関内・関外地区の業務再生モデルづくりを目的とした街方、行政、起業家等多くのステークホルダーによるブレインストーミング（関内エンハーンストプログラム）の一風景です。全6回のうち2月8日夜開催で4回目を終了しました。

発行日 平成 24 年 2 月 10 日（金）
発行 公益財団法人起業家支援財団
事務局 〒231-0003 横浜市中区北仲通 3 - 33
TEL 045-263-9222 FAX 045-263-9220
www.shienzaidan.or.jp info@shienzaidan.or.jp
発行責任者 小林孝雄 編集 羽田清

新しい年を迎えました。今年は、東日本大震災からの復興・復旧を実現していく年になります。がんばろう日本！がんばろう東北！しかし、この冬は、平成18年以来の寒波の到来で、東北の被災地のみならず、日本海側の各地域でも豪雪に見舞われています。冬来たりなば春遠からじ、と言いますが、立春も過ぎ、本格的な春の到来が待たれます。被害の少ないことを祈りたいと思います。さて、今回は、平成 23 年度第 4 四半期の報告をいたします。12 月 7 日に財団の評議員会、理事会が開催され、平成 24 年度の事業計画、収支予算が審議されました。5 周年を迎える新年度の事業が決まり、その実現に邁進していきます。引き続き、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。
(副理事長 小林 孝雄)

●第 5 期奨学生の採用審査

今年 4 月から 1 年間、財団の奨学生となる第 5 期生の採用審査が行われました。今回は、一般公募（募集期間平成 23 年 6 月から 9 月まで）の結果、36 件の応募がありました。応募件数は例年より少ないものの、初めての大学を含め、応募大学数は増加しました。事務局による第一次審査ののち、12 月 25 日（日）、26 日（月）の両日、奨学生選考委員による面接審査を行い、25 件を候補といたしました。この他、特別応募（大学内等でのビジネスプランコンテスト入賞者から採用）の数名を加えて、30 余名となる予定です。

●学生起業家支援事業（奨学金給付事業）・学生起業塾

第 4 期奨学生に対し、12 月 17 日（土）、第 30 回学生起業塾を行いました。この日は、前年に続き、二宮町の農家（橘川農園）にてフィールドワークとして、農作業体験を行うとともに、農家経営の実態等についてレクチャーを受け、経営者の厳しい取り組み姿勢などについて学ぶ機会となりました。

なお、第 4 四半期としては、上記のほか、11 月 9 日、12 月 17 日に奨学生各自の起業プランの発表、ファシリテーターによるプランのブラッシュアップなど、学生起業塾を 2 回開催し、学生の起業プランの充実に向け支援を行いました。

●社会的企業育成支援事業コンソーシアム

昨年 4 月から実施している、内閣府からの受託事業、社会的企業育成支援コンソーシアムの最終回となる第 6 期 i S B 公共未来塾(セミナー)を 10 月 22 日（土）開講しました。

未来塾のセミナーとしては最終回となることもあって、60名余の受講生の参加があり、12月3日の修了式まで、賑やかに講義等が進行しました。

なお、iSB公共未来塾の修了生は、6回のセミナーの他、サテライト5会場（相模原・川崎・藤沢・千葉・滋賀立命館）、横浜市立大学、桜美林大学のエンハンスプログラムなどを含め、400名を越える数となり、所期の目標を達成するとともに、社会的企業に関心を持つ多数の方々とのネットワークが生まれることになりました。

●経営道場2011

10月7日（金）、「アントレプレナーシップで経営を革新する」をテーマに、企業の幹部候補、創業経営者の後継者などを対象に展開する青年起業者支援事業「経営道場2011」を開講しました。トータルコーディネーターは浜銀総合研究所の大島研究主幹、受講者9名で、4月7日までの13回シリーズです。

●関内イノベーションイニシアティブ(株)から受託した起業者支援業務（関内フューチャーセンター）の運営

関内フューチャーセンターに入居する起業者、企業家等に対する支援業務、施設の管理業務などを引き続き円滑に遂行しました。

●財団評議員会、理事会の開催

12月7日（水）、神奈川県中小企業共済会館内の会議室で、新年度の財団の事業計画、収支予算を審議する評議員会（議長 江越博昭氏）、理事会（議長 松井利夫氏）を開催しました。

それぞれ、定刻に開会し、平成23年度中の事業実績等を踏まえて、平成24年度の事業計画案、収支予算案を慎重に審議し、承認可決されました。

平成24年度は、当財団の設立5周年に当たり、財団定款に定めた各事業をより進めていき、起業者の活躍による産業活性化に寄与していきたいと考えています。

事務局から

平成23年度第4四半期も、財団としてはiSB公共未来塾の最終回となる第6期セミナー、社会起業プランコンテストの最終第4回の最終審査会、そして第5期の奨学生選考と大きなイベントを無事終えることができました。この間、財団の行動指針となる事業計画、収支予算を確定する評議員会、理事会を開催し、事務局員一同、それぞれの充実感を胸に持ちながら新年を迎えることができました。現在は、平成23年度決算業務を進めているところです。

新年に入り、寒波の到来により寒い日々が続いております。インフルエンザも流行しております。皆様におかれましてはより一層ご自愛のほどお祈りしております。